

## 2 キャリア教育の推進

児童生徒が将来、社会の中で自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現するための力を身に付けることができるよう、特別活動を学校教育全体で行うキャリア教育の要としつつ、各教科等の特質に応じて、小学校から中学校の9年間を見通し、発達段階に応じた教育活動を展開する。

### キャリア発達への支援

#### 「キャリア発達」

＝社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程

- ◇目指す児童生徒の姿が明確なキャリア教育目標を設定する。
- ◇キャリア教育に関わる活動について、学びのプロセスを記述し、振り返ることができるポートフォリオ（キャリア・パスポート）について、小学校から中学校の9年間を見通して活用する。
  - ・児童生徒の発達等に応じ、自分のことから社会のことへと段階的に広げられる活動記録の工夫と蓄積
  - ・「さぬきっ子キャリア・パスポート」等の活用による系統的な指導  
(例) 自己の目標、学校生活の振り返り、授業の学習活動について  
学校行事や校外学習（地域の活動）、家庭の取組、部活動について
- ◇主に集団の場面で必要な指導や援助を行うガイダンスと併せ、児童生徒個々の実態を踏まえ、長期的な展望に立ち児童生徒の自主的な決断や行動を促す「キャリアカウンセリング」の視点を日常の指導の中に取り入れる。
  - ・「聴く」「受け止める」という基本姿勢
  - ・教員の明確な目的（問題解決や意思決定を図る）と意図（自己理解・情報収集・選択肢の検討・将来計画を促す）をもった対話

### 学ぶこと、働くことの意義の理解と集団の一員としての役割の自覚

- ◇職業や仕事についての理解、自己の可能性や適性の理解、自己有用感の高まりをねらいとする体験活動を実施する。
  - ・地域の職業調べ、職場見学、ボランティア活動、職場体験等の充実
- ◇小・中学校9年間を通じて、自分なりの勤労観・職業観を醸成できるよう、特別活動の学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」を要とした指導の充実を図る。
  - ・働くことの意義、集団の一員として役割を果たすことの大切さを理解させる指導

### 校内の体制づくりと理解の促進

- ◇教員一人一人のキャリア教育に対する理解と認識を深め、校内の組織・体制を確立する。
  - ・キャリア教育目標の設定、計画の立案や情報提供などキャリア教育を推進する担当者の任命や、行事・活動等を検討する推進委員会の設置

### 家庭や地域等との幅広い連携の推進

- ◇家庭への積極的な働きかけや地域との連携に努め、学校・家庭・地域等が一体となって様々な場や機会を設定する。
  - ・職場体験等の円滑な実施を支援するため、市町（学校組合）教育委員会、PTA、商工会議所等への協力依頼

#### ■関連資料

- 「語る 語らせる 語り合わせる で変える！キャリア教育」 平成28年3月 文部科学省
- 「キャリア・パスポート 特別編1～10」 平成30年～令和4年 国立教育政策研究所

① キャリア・パスポートって何だろう ② キャリア・パスポートで小・中・高をつなぐ ③ キャリア・パスポートで日々の授業をつなぐ ④ キャリア・パスポートで「児童理解」につなぐ ⑤ キャリア・パスポートで「自己理解」につなぐ ⑥ キャリア・パスポートでキャリア教育と特別活動をつなぐ ⑦ キャリア・パスポートを「ホームルーム経営」につなぐ ⑧ キャリア・パスポートを「小小連携」「保幼小中高連携」につなぐ ⑨ キャリア・パスポートを「キャリア・カウンセリング」につなぐ ⑩ キャリア・パスポートを「自分のよさや可能性の認識」につなぐ

- 「さぬきっ子キャリア・パスポート」 令和2年～ 香川県教育委員会義務教育課